

古文書を読む



愛知学院大学「古文書学Ⅱ」テキスト
これは近世の古文書を読むためのガイドブックです。 中川すがね

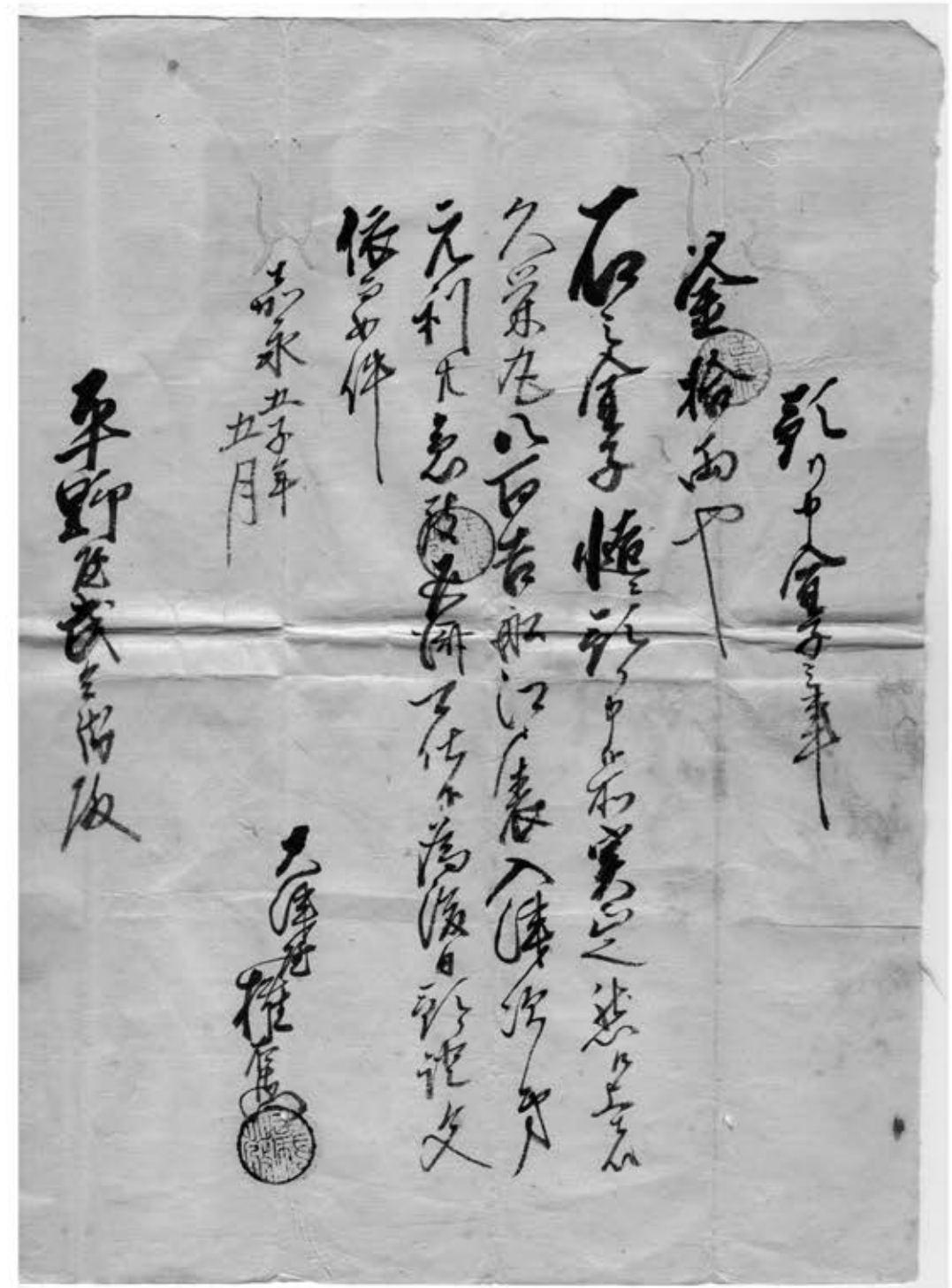
目次

1頁	1 近世の古文書についてQ&A
5頁	2 古文書・古典籍の取り扱い方(利用の方法)
6頁	3 古文書の解読(翻刻)の方法
7頁	4 古文書・古典籍の料紙
8頁	5 古文書の形態
11頁	6 近世の和本(古典籍)
15頁	7 近世の読み書きと読書
17頁	8 異体字
20頁	9 漢数字と大字
21頁	10 変体仮名
26頁	11 古文書関連の約物
27頁	12 近世の度量衡
31頁	13 干支
32頁	14 年代表
33頁	15 江戸時代の時刻 16 江戸時代の方角
34頁	17 江戸時代の貨幣
付録	18 古文書整理
付録	19 古文書の複写

1 近世の古文書についてQ&A

Q, 古文書(こもんじょ)ってなんですか。

A. 筆に墨をつけて和紙に書いた文書ですが、狭義には「差しだし人」と「宛名」があって、やりとりされるものをさします。しかし近世の古文書には、帳簿や日記や、絵図などもあり、「番付」などの木版の印刷物、「古典籍」といわれる書物もいっしょに扱うことが多いです。明治以降、洋紙にインクで書かれた史料も増えますが、これも古文書です。どんな史料も、使われなくなると、いずれ史料としての古文書になる、ということです。



「預り申金子之事」